

その他の食料品製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	12～13	包装室で包装機付近通路にて、切り換え作業時に排出された廃棄フィルム掛けをしているときに、長く伸びた廃棄フィルムを引きずって歩いていたら、フィルムを踏んでしまい滑って転び、左大腿頸部を骨折した。	57	50～99
1	12～13	現場事務所から加熱の作業場に向かう途中で転倒し、頭部を打撲した。	59	—
1	12～13	6Bロボットケーサーの切り替え操作直後、ダンボール製函機でアラームが鳴ったため、床が濡れているところを走り出したところ、転倒し負傷した。	20	100～299
1	12～13	保管庫前の通路にて、洗浄作業の交代のため、急いで作業場に向かう際、濡れた床に足をもたれてしまい転倒した。	59	300～499
1	16～17	会社工場内で水を撒いて、床掃除機で吸水していた。吸水しきれていなかった所を歩き、滑って転んだものである。	47	30～49
1	10～11	食材を取りに、食材準備室側からチルド半製品保管庫のに入った所で足を滑らせて転倒し、受け身を取ろうとして、床面についた左手の手首を骨折した。	62	300～499
1	13～14	本社工場内、チルドBラインにてトッピング作業をしていたところ、はかりが落下したので拾おうとした際に足を滑らせ転倒し、右足を捻った。	61	300～499
	10～	施設食堂ホール内を昼営業前の準備で歩いていたとき、新品に取りかえたばかりの指定靴のサイズが少しゆるくて靴の中で足が動き、ぐきっとよじれた形になっ		

1	11	てしまった。ホール床は絨毯であり、靴のサイズは合っていたが幅が広がったと思われる。	66	—
1	7~8	敷地内で、雪で滑って転んだ。	72	1~9
1	10~ 11	洗い場にて、残飯廃棄用のカゴを持ってこようとして台車に乗せて運んでいたところ、床の油で足を滑らせ転倒しそうになり、膝をついたその衝撃により股関節及び腰に痛み・炎症が発生した。	58	50~ 99
1	2~3	調理室でフライヤー2号機に食材を流す作業をしている時、フライヤー1号機と2号機の間を移動する際、台車を跨ごうとしてバランスを崩し前方へ転倒した。定期清掃を行っているがフライヤー周囲の床は、フライ油が付着する事があり、被災者の作業靴もかかと部分がやや摩耗していた。	65	300 ~ 499
1	7~8	当社作業場内において、製造開始準備で消毒用アルコールを取りに行くため小走りに急いでいたところ、右足が滑り転倒し、左手を地面につき負傷した。	63	30~ 49
1	13~ 14	仕分け作業員が、おむすびラインと連続巻き機の間を歩いて休憩に行く際に、寿司ライン付近の床が濡れていたため転倒した。寿司ライン清掃中で床が濡れていたことを知らず、足を滑らせ転倒した。	62	100 ~ 299
1	8~9	工場の通路にある棚のところで、調理場の漂白剤を補充するため漂白剤のビン（ペットボトル）の入れ替えの際、ビンを棚に戻そうとしたときにバランスを崩して転倒し、股関節部分に痛みが発生した。その後、骨にひびが入っていることが分かった。	75	30~ 49
2	9~10	学校給食センター加熱処理室で、清掃作業中床を消毒する塩素水を取りに行こうとした時、床が濡れていたため滑り転倒した。その際右足を捻り右足関節部を骨折した。給食センターの床はドライ方式で通常床面は乾いている。洗浄作業中については、床面が濡れる場合もあるため、足元に注意し作業していたが転倒してしまった。	51	10~ 29
2	14~15	加工場サンドイッチラインでサンドイッチの製品にラベル貼り作業をしており、その作業が終了したので次の作業のサンドイッチのカット作業をする為に早歩きで移動した。サンドイッチカット作業位置付近がその直前に濡れており、拭き上	35	300 ~

		げた直後だった為左足を滑らせ転倒した。		499
2	10~11	当調理場女子トイレ内でトイレ用サンダルから通常使用のスリッパに履き替える際、一段高くなった床の上で滑り、右手・右肩の順で前方へ転倒した。右膝関節が外れたとの自覚があり、そのまま這ってトイレから出て助けを呼んだ。	43	30~ 49
2	10~11	食材の配送作業中に配達先の施設の敷地内にて荷物の積み込み作業中、入口の段差のある所に足をとられ転倒してしまった。その際に左足首をひねり負傷した。	32	100 ~ 299
2	23~24	盛付室内で計量し終わったチャーハンを台車に積んで運んでいる時、床が濡れていることに気付かず、滑って転倒した。その際、腰を強く打った。	32	300 ~ 499
2	8~9	工場内で作業中、食品を入れる容器の蓋がかなり古くなっているのに気付き、廃棄しようと、隣接する物置き場に持って行ったところ、そこに重ねて置いてあった台車（カート）の脚か手すりにエプロンの裾が引っ掛かり、躓いて前のめりに転倒した際、右手で床を着いて倒れ、右手首を骨折する怪我を負ってしまった。	54	30~ 49
2	14~15	加工場にて箱取作業（コンベアベルトで流れ作業で盛付後ラップ機を通り完了となった物にラベルやシールを貼って製品番重に取っていく）中、台車に製品を入れた番重を1段入れた状態のものに躓き、転倒し右膝を強打した。本人の癖で作業台と自分の間に製品番重を置くので慌てると同線上のものに躓きやすい状態にある。	60	300 ~ 499
2	10~11	カット工場内で、野菜の入ったカゴを持ち移動中、床面に野菜の残渣が落ちていたため滑って転倒した際胸を打ち負傷した。	42	50~ 99
2	14~15	日勤調理社員が、調理用二ーダーの前に食材の入ったバットを台車ごと移動した。次の食材を取りに移動しようと身体の向きを変えた時、左足がその台車にかり、前のめりとなった。この時、右手を強く床についてしまい、肘を痛めた。その後、痛みが引かなかったので通院したところ右肘関節脱臼と診断された。	26	500 ~ 999
2	5~6	トッピング室で掃除をしている際、水を撒いて汚れを落とそうとしていたら滑っ	57	500 ~

		てしまい、床に手をついて骨折した。		999
2	9~10	2階加熱室の冷蔵庫に使用した原料（たけのこ）500gを置くの保管棚に置きに戻ったところ、床がエマテックの溶液（ほぐれ剤）で濡れており（油膜が出来て滑る状態であった）滑って左膝を強打した。	65	300 ~ 499
2	14~15	給食センターの正面玄関を出て、東側を回って検収室へ向かう途中の植木のそばで、洗浄するザルを急いで取りに行こうと走っていた際に、慣れない給食センターのスリッパを履いていたため、躓いた拍子に足がスリッパに引っ掛かり、顔面から倒れそうになったので、右手をついたが、その後、顎を地面に打ちつけた。	57	10~ 29
3	17~18	被災者は、廊下を通行していたところ、開いたスイングドアに気づき避けたが、避けたところの床タイルがはがれていたため、はがれたタイルに躓き転倒して左太もも付近を打った。	63	100 ~ 299
3	10~11	被災者は当社工場内ローラー掛け通路において、当時清掃中で床が濡れていたため、清掃作業員が口頭で注意を促していたが足を滑らせ、左手をつき、左手首を負傷した。	67	100 ~ 299
3	15~16	下処理室よりゴミを持って出たところで、床が濡れていたため滑り転倒し、右手を強打して手首を負傷した。	64	50~ 99
3	11~12	弊社植物工場内栽培室にて、中継作業（収穫したレタスを受け取り、不要な葉を取り除く作業チームへの手渡し作業）中に足を滑らせ、左側の顔と左側頭部を床面に打ち付けた。床面が濡れていたことが原因である。	48	50~ 99
3	7~8	工場1階加熱調理場で荷出作業を開始する際、洗浄室に番重をとりに行こうとして通路を歩いていた際、釜作業者が急に後ろ向きのまま下がってきた為ぶつかりそうになりよろけたところ、バランスを崩して転倒し、手をついた際に右手中指が不自然な状態になり、じん帯を損傷した。	45	300 ~ 499
3	16~17	当社出先の内厨房の洗浄コーナーにて、職員食堂の箸と湯飲みの補充をするため移動している時、シンクからこぼれた洗剤を含んだ水で足を滑らせて転倒し、左手をつき左手首を骨折した。	69	10~ 29

3	16~17	当社出先の事務所スロープ付近にて、業務を終えて帰宅するため、徒歩で病院敷地東口から公道に出る時、病院敷地は公道より約50cm高くなっているためスロープが設置されていたものの、疲れて何も考えずに歩いていたため、スロープを通らず敷地の段差に気付かず公道に落ちて、右足先を強く打ちつけた。痛みは感じなかったため、そのまま駐車場まで歩き、自動車を運転して帰宅した。その後、負傷部の痛みが増し、我慢できなくなり、右足親指骨折と診断された。	51	10~ 29
3	8~9	事業所の階段を上るとき、床が濡れていたため足をすべらせ転倒し、階段の手すりで頭部を打った。	23	100 ~ 299
3	13~14	工場プラットホームにて、豆腐容器の入った段ボール箱を補充の為、大豆の袋の上に乗り動かしたところ足が滑り、約1mの高さより転落し、右手首他を強打した。	69	10~ 29
4	15~ 16	本社工場内にて、急速冷凍庫に保管されている製品を取りに行った際に滑って転倒し、左肩を打撲した。	50	50~ 99
4	16~ 17	作業場で床の掃除をしている時に野菜のくずを踏んで滑って転倒し、右手をついて骨折した。	36	50~ 99
4	16~ 17	畜産課加工場内で、後片付け中秤を両手で持って歩行中に、濡れている床で滑って転倒した。機械（A to Z）の不具合により、肉の脂が混ざった水で床が漏れていた。	54	500 ~ 999
4	7~8	会社出勤時、ドアストッパーを片足で立てようとした時、工場入口でバランスを崩して転倒し、右大腿骨を骨折した。	62	10~ 29
4	1~2	延長コンベヤを掃除する為に部品を取り外して他の台に運ぼうとした際に足がつって床面のコードに足が引っ掛かった。部品を両手で持ったまま転倒したため、左頭部、左ひじ、左ひざを強打し、一瞬気を失った。	50	500 ~ 999
4	12~ 13	米飯フロア寿司ラインにおいて、サラダ巻の盛付用具材（ツナ）を取りに行こうと巻き寿司成型機の前を通ったところ、足を滑らせて転倒し、肘と腰を打った。転倒時、床はアルコールの水滴で濡れており、かつ本人の作業靴の底は飯粒等の	62	300 ~

		残渣が多量に詰まった状態で、靴底の滑り止めについてもかかと部分が摩耗しており、滑りやすくなっていた。		499
4	11～ 12	茶畑の被ふく作業中、動物が掘ったと思われる穴に足が入り負傷した。	63	1～9
5	17～ 18	工場仕上室内の冷凍庫を清掃する際、電源は切ったものの内部は冷えたままで、清掃した水が床上に薄く凍結した。その凍結箇所ですべて足を滑らせ転倒し、左肘を床に強打し、左肘を骨折した。	57	100 ～ 299
5	0～1	センター盛り込み室にて、盛り付け作業中、床掃除後だがぬめりが残っていた部分で滑り、骨盤を床に打ちつけ骨折したものである。	72	100 ～ 299
5	8～9	包材庫前失に入室したところ床が結露しており滑って転倒した。右手を床につく際、手に物を持っていたので手のひらをつけず、手の甲から転倒し床に強打した。	59	300 ～ 499
5	17～ 18	畜産2階加工場の冷凍庫の床を清掃中、お湯をまいて清掃していたため、しばらく経つと床が凍ってしまい、歩いたときに滑って転倒し、左手を床に強打して左手首を骨折した。	55	100 ～ 299
5	8～9	炊飯室横の通路においてある洗浄剤ト口箱を取りに入った際、足を滑らせ横転し、床に頭部をぶつけた。	56	100 ～ 299
5	16～ 17	工場内にて卵のハネ品を集めたりする作業中、重心が前にかかり、バランスを失って右肩から前のめりに転んで右上腕を打った。	59	300 ～ 499
5	18～ 19	事業所において、被災労働者が業務を終え、着替えをするため休憩室に行こうとしたところ、厨房出入口の沓摺りが濡れており、誤って足を滑らせ転倒した。転倒した際、とっさに右手で身体を庇い、右手首を床に強打し骨折し、手首が腫れてきた。	60	1～9
		Bパネル洗浄室入口付近にて、収穫時のトリミング作業員への収穫パネル中継作		

5	12～ 13	業の際に、剥がれた滑り止めシートの接着剤が水に濡れ、ゼリー状になっていたことから、ゼリー状の接着剤に足を滑らせ尻から床面へ落ち、左肘・腰を床面に打ちつけ、転倒した際にトリミング作業中の収穫製品番重作業台へ左足をぶつけた。	28	50～ 99
5	10～ 11	包装フロアを移動中、床にあった突起に躓き転倒した。その際、うつ伏せに倒れ、胸部を床に強打した。	61	100 ～ 299
5	20～ 21	工場内にてトレーを入れる折コンテナを清掃後に、折コンテナをコンテナ搬送台に折りたたんで二段重ねにし、折コンテナに手を添えて搬送している際、コンテナ搬送台が横にあるトレー洗浄水槽に当たり衝撃で手が滑り、左手を床についた際に左手首をひねり骨折した。	63	100 ～ 299
5	13～ 14	中学校において給食配送後の食器回収をしていた際、約50cm段差のあるターミナルに上がる時に足を踏み外し、バランスを崩して転倒し、左腕を強打した。	72	10～ 29
5	12～ 13	お昼休憩後、作業場に戻る際、休憩室出入口ドアの足元の段差に気付かず、躓き転倒した。	56	10～ 29
5	15～ 16	製造室にて洗浄作業中に、テーブル下20cmに仮置きしていた長さ141cmのブラシがテーブルより20～40cm程はみ出しており、躓いて転倒して左膝を強打した。	58	30～ 49
6	9～ 10	個人宅足場解体工事現場において、足場解体作業中、2段目足場にて作業していた者が、クランプを取り外す最中、先に外し足元に置いていた単管（1m）に足を接触させ単管を落下させてしまった。その時、その下で作業していた従業員の肩に一度当たり、その後に右足甲の上に落下し負傷したものである。	45	10～ 29
6	8～9	自宅を出て会社駐車場（第二駐車場）到着し、車から降りて100メートルほど歩いたところで躓き転倒した。その時に左足首をひねり転倒したままで、同じ職場の事務員に支えてもらいながら会社更衣室まで歩いた。しかし左足首が痛む為、病院に行きレントゲンによって骨折が判明した。	58	100 ～ 299
6	10～ 11	工場内にて、ロールボックスから出したバットを床で滑らせ、洗浄機前まで押して移動させていたところ、グレーチングにバットが引っかかり、前につんのめり	35	100 ～

		転倒し、左膝付近を打撲した。		299
6	12～ 13	当社工場内2階食堂で、昼頃、椅子の足に躓き、両膝を床に強くついてしまう。左膝に湿布をして仕事に戻ったが、工場1階製造場で原料の入ったパットを持って移動していた夕方頃にまた転んでしまい、左肩を床に打ってしまったものである。	66	30～ 49
6	0～1	米倉庫から出て、おにぎりピックアップ室とおにぎり仕分け室の間を通行中に転倒した。その時、右足の靴が脱げ小指側から床面についた。	51	300 ～ 499
6	10～ 11	下処理の終わった肉を運ぶ際、通路がコンテナで塞がれていた為、通路の端を通過しようとした際、足を滑らせて台車のバランスを崩し、人・車共に転倒し、台車の下敷きになってしまった。	29	100 ～ 299
6	11～ 12	当店調理場にて、空のバケツを持って移動中に、床が濡れていたのに気づかず歩いてしまい、滑ってバランスを崩して左肩より転倒し、左肩を負傷したものである。	66	10～ 29
6	5～6	休憩終了後、入場口にて、手洗いをしハンドドライヤーで手を乾かしていた際に、突然ハンドドライヤーに手をつき寄りかかる。その後、仰向けに倒れて後頭部を床にぶつける。意識はあったが、救急車にて病院へ搬送される。診察の結果、脳内に出血が見られる為、脳神経外科へ移送される。	62	500 ～ 999
6	15～ 16	第1工場にて紙巻機械で作業中、栽培ビンが倒れたため元に戻そうと、機械の床より1mの部分に上がり（通常はビンを起こす時は専用の棒で起こす）、ビンを起こして床に降りる時、右足に負荷がかかり負傷した。	43	50～ 99
6	8～9	出勤時、敷地内駐車場に車を止め建物内に入る際、傾斜部分の砂利に足を滑らせ尻もちをつき、その際に右足が尻の下に入り、右足首を骨折した。	66	1～9
6	9～ 10	冷凍資材庫へ具材を取りに行った際に、資材が多く、通路が狭くなっていたため、床面に置いてあった物を避けようとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に、持って来ていた台車のタイヤに背中を打ちつけてしまい、左肋骨を骨折した。	28	300 ～ 499

6	15～ 16	かごを持って移動中、線に足を引っ掛けて転倒した際、持っていたかごが顔に当たり、鼻と前歯を損傷した。	76	10～ 29
6	19～ 20	翌日の準備の為、冷凍庫より商品を出していたところ、入口付近で靴に霜が付着していたようで滑って転倒した。その際、背中を強打し、ムチ打ちを負い、ついた左手も痛くて握れなくなった。	51	100～ 299
6	10～ 11	新製品の発売を控えているため、毎日の生産アイテム数が通常時の1.5倍になっていた。アイテム切り替えの際には水洗い洗浄を行うため、普段より床が濡れる頻度が高くなっていて、同時に切り替え作業を急いだため慌ててしまい、濡れた床で転倒してしまった。	51	30～ 49
6	13～ 14	1F茹麺機の製品切り替え作業を行う為、2段の作業台を使用し、作業を終えて後ろ向きで降りた際、床の突起物に足を乗せてしまい、足首を捻った。	25	300～ 499
6	11～ 12	場所移動中に呼び止められ、振り返った際に足を滑らせて転倒し、右肩を床に打った。	66	30～ 49
6	11～ 12	工場包装室で惣菜のパック包装作業中、空になった容器を片付けようと運んでいる時に、足元にあったカートに躓いて転倒し、胸部を地面に打ちつけて肋軟骨骨折をした。	64	100～ 299
6	22～ 23	製造二課米飯室で、材料を取りに行く移動中に、海苔保管庫前の床が濡れていた為、滑って転倒した際、尾てい骨を負傷した。	59	300～ 499
6	10～ 11	厨房で冷凍庫に食材を収納している時、両手がふさがっている状態で動こうとして足が滑り、転倒しそうになる。転倒は堪えたが、足を捻ってしまい骨折した。	50	10～ 29
6	11～ 12	段差を降りようとした際、配管に右足が引っ掛かり、そのまま転倒した。その際に足首を捻った。	49	300～ 499
6	22～ 23	工場内炊飯室で炊飯作業終了後、機械等を水洗いしていた時、右足でホースを踏みつけた拍子に足が滑り横転したため、床に右手を着いた際に負傷したものであ	50	100～

		る。		299
6	15~ 16	配達先にてお弁当の回収をする際、段差に気付かず足を踏み外し、左足首を亀裂骨折してしまった。	50	100 ~ 299
6	11~ 12	配達及び回収から戻り、洗浄コーナーに車両から弁当箱（ケース入り）を下ろそうとしたところ、足元の弁当箱（ケース）に気付かず接触し、転倒して右膝を負傷した。	44	10~ 29
6	17~ 18	工場内の階段において、就業を終えたため帰宅しようとした際、送迎バスの時間が迫っており、急いで敷地内の階段を数段飛ばしで降りていたところ、階段を踏み外したため、右足首を受傷した。	58	100 ~ 299
6	15~ 16	盛付Aラインにて、盛付終了後、次の商品への切替準備のため、残った具材の入った台車を押して運搬していたところ、滑って転倒し、臀部から腰にかけて強打した。全く動けない状況だった。レントゲンの結果、異常はなかった。	55	300 ~ 499
7	23~24	冷蔵庫内ゴミ置場手前で、ダストカートに入っていたゴミを一旦カートから足元付近に取り出した。最後のゴミをカートから取り出し、ゴミ置場まで運ぶ際に足元にあったゴミに足をとられ転倒し、右膝を床に強打した。	59	100 ~ 299
7	17~18	機械部品洗浄中に部品に足がつまずいて床に転倒。	45	50~ 99
7	8~9	本社2階工場入口付近で発生。工場へ入ろうとしたところ転倒右手を強く打ち右手首骨折。	61	300 ~ 499
7	8~9	工場内資材事務所（倉庫）の出入口付近にて、滑って転倒した際にドア枠に右足のすねをぶつけ、切り傷と打撲を負った。	46	100 ~ 299
7	6~7	作業場にて作業終了時の片付けをしていた際床が湿っていたため、足を滑らせ転倒してしまった。その際、右手首及び頭部を床に打ち付け負傷した。	47	300 ~ 499

7	11~12	仕出し配達を終え、会社に戻り、車から降りる際、運転席が高いのと駐車場の地面（コンクリート）が斜めになっていることで降りた時、右脚がボキッと捻ったかたちになった。外傷もないので、大丈夫だと思い、そのままだったが、日を追って痛くなり、後日パンパンに腫れ我慢できなかった。	47	10~ 29
7	1~2	盛付ライン先頭で作業しており、開封した容器の袋を近くのごみ袋に捨て戻ろうとした際、ライン作業していた人の足に躓き、四つん這いになる形で転び両膝を打撲した。痛みもすぐ引くと思ったが、金曜日になり立って作業するのも辛くなったため、早退。土曜日に事後報告をもらった。3週間の安静休養・療養が必要と診断された。	55	~ 299
7	4~5	番重洗浄室成型室側入口前にて床が濡れていたため、足を滑らして転倒。その際に床面に手を衝く。	50	100 ~ 299
7	9~10	内番重洗浄室で洗浄作業をしているときに、床がタルタルしていたため、移動していたら誤って足を滑らせて転倒し、右手首を打撲した。	27	500 ~ 999
7	16~17	当社工場内、冷凍室において材料を格納する作業を行っていた。材料を冷凍室に置き、冷凍室を出ようとしたところ、棚に置かれていた材料に気を取られていたためか、誤って着氷した床面で足を滑らせて後ろ向きに転倒。咄嗟に右手をコンクリート製の床面につき、右手首を負傷したもの。	50	50~ 99
7	9~10	作業室において、弁当の製造中、右足をひねり、バランスを崩して壁に倒れ掛かった際に右背中を強打した。	48	10~ 29
7	11~12	被災者は、当社事務所入口前において商品説明を終えて立ち去ろうとした時、他の従業員が水を流しながら掃除をして濡れた路面に滑り、転倒した。その際、左足首を負傷した。	72	30~ 49
7	12~13	被災者が昼休憩終了前にお手洗いから作業場の摘み取り現場へ歩いて移動していた際、作業場へ向かう途中の部屋に、桶へ水をいれるために床を這わせていたホースがあった。そのホースに足を引っ掛け、前方向へ躓き、両膝をコンクリート床にぶつけ負傷した。	67	50~ 99

7	15～ 16	野菜作業場で清掃の水引作業をしている時、床が濡れていて少し斜めになっている為にバランスを崩し右足を捻りながら転倒した。その際右足脛を捻って痛めた為、病院へ行き手当を受けた。	60	～ 299	100
7	11～ 12	焼立2F焼成Bライン出口のエアガン用の巻き付けタオルを交換し、焼立1Fへ向かうと歩行している際に、滑って尻もちをつくような形で転倒した。	34	～ 499	300
7	9～ 10	当社、作業場内において台車を持ち歩いて移動していたところ、つまずいて転倒し床面に左ひざ右ひじを強打し負傷した。	36	1～9	
7	15～ 16	計量室にて、水に濡れて滑りやすくなった床で、足を滑らせ転倒した。倒れる際に脇腹をゴミ箱に強く打ちつけ、肋骨が2本折れた。	64	～ 999	500
7	10～ 11	冷凍庫から仕込の材料が入ったダンボール（10ケース）が載った台車を出すときに、後ろ向きで引っ張っていて転んだ。	62	～ 299	100
7	4～5	加工室から休憩室に移動のため、水産発生ゴミ室前を歩行時、若干濡れていた床でサンダルが滑り、通路の右側に置いてあったクレートに寄り掛かろうとしておでこを打ち、後方に転倒し、床に左胸を打って負傷した。	54	～ 999	500
7	17～ 18	運動後、別室へ移動していた際、躓いて転倒した。その際に左側から転倒し、肩を強打して動けなくなり、救急車で搬送された。	45	50～ 99	
7	3～4	受傷当日、明け方に出勤し（夜間勤務）、作業服に着替えて就業場所に向う途中、腕力バーを取ってくることを忘れ、引き返す途中、2階から1階の職場に向う廊下の曲り角で、床面が濡れた箇所で滑って転倒し、骨折した。	57	～ 499	300
9	11～ 12	食堂ホール内にて、会議用テーブルを運んでいたところ、転倒し机が落下し、股関節付近を強打した。	56	10～ 29	
9	14～ 15	就業中、調理室にて洗浄作業の際トレーを持って歩いている時、計りの前床に置いてあった残飯の入った袋に気付かずよけようと足を捻ってしまい、左足小指の付け根中足骨を痛めた。	44	1～9	

9	7~8	食堂で味噌汁をトレーに載せて配膳中、車椅子の利用者が配膳しているすぐ近くに着席した為、利用者を避けようとした所、バランスを崩し転倒した。	64	1~9
9	13~14	樹脂板洗浄室において、ラックを殺菌庫に入れる作業中に足を滑らせ転倒した。体を支えようと右肩に負担がかかり受傷、又、転倒の際に床のレフレ部分に右肋骨を打ち受傷した。ラックを両手で押しながら掴んでいたが、手も滑り転倒を防げなかった。	64	50~99
9	4~5	当社、デザートトッピング室で作業中にロール巻き作業への移動中に、ナッペマシコードの段差に足を引っかけて、すべり転倒した。	46	500~999
9	4~5	清掃作業中、足元に伸びていたホースに気付かず、ホースに足を引っ掛けて転倒し、左膝を強打し負傷した。	54	100~299
9	18~19	店内にて、惣菜厨房入口で、片付け作業中に床が油や水分で濡れていた為、足を滑らせ転倒した際に、右手を壁に押し付けて右手甲を受傷した。	61	10~29
9	11~12	工場内で生葉の受け入れ作業を行うため移動している時に転倒し、右の額を打撲した。	75	10~29
9	18~19	勤務終了後駐車場にある車まで行く時、駐車場内の車止めブロックに足を引っかけて転倒した、その際、右膝を強打した。	61	100~299
9	10~11	厨房でつまずいてしまい転倒、恥骨骨折、全治1ヶ月程度である。	70	30~49
9	9~10	とまと選果場で3段積みのパレットの3段中、一番上のパレットを降ろそうとして、2段目（高さ30cm）から、降りる際に、着地に失敗し、右足を負傷した。	65	10~29
9	22~23	生産終了後にタンクを運搬中、床にこぼれていたうどん麺を踏み靴底に麺が付着して、すべり転倒して、尻、腰を打撲した。	62	100~299
		小学校給食室の洗浄室内で、使用後のトレイ400枚がのせてある移動式の台を布		

9	14～ 15	手袋を着用して、食器搬入口付近に移動中、台のキャスター部分がグレーチング（溝）設置箇所でバランスを崩し、トレーと一緒に倒れた、元に戻そうと台の下を持ち上げようとした際、台の外枠の角部分内側で、左手の人差し指の第一関節部分を裂傷した。	39	1～9
9	15～ 16	トイレから戻って来て漬け込みを始める前に、ボールやカップを取りに行く途中、排水溝近くの床面が鶏肉や豚肉の脂で滑りやすくなっていた為に、ヌメリで足元を滑らせて後ろ向きに倒れ、ステンレスの机に後頭部を打ち受診となっていたものである。	63	300～ 499
9	21～ 22	サンド盛付室にて作業終了後、帰ろうとしたところ、スイングドアの前で、名前を呼ばれて振り返った。その時、室外の方から別の従業員が室内に入ろうと、スイングドアを押した為、ドアのすぐ近くにいた本人は、そのドアに押され転倒、転倒時体を支えようと手をつき負傷した。	59	100～ 299
10	13～ 14	給食室で食器等の洗浄をするために移動しているとき、足元が滑り転倒した。とっさに手を伸ばした場所が、ステンレス板がはがれていて端が鋭利だったため負傷した。	57	30～ 49
10	15～ 16	工場内、シャリクーラー室（炊飯したご飯を冷凍する前に低温にする部屋）を洗浄するため入室し、通路（三段程高くなっている）を下りる際、床に足を置いた瞬間、両足が滑り（手すりを掴んでいたが、バランスを崩した）転倒。左手を床についた時、負傷した。	52	50～ 99
10	6～7	作業終了時の靴を洗いジヤ洗浄を行うため水槽を通過しようとしたが、衛生担当が清掃作業を行っていた為、ホースが通路を塞ぐようになり跨ごうとしたところ、バランスを崩し転倒した。その際に右手をつき手首を痛めたが我慢し、翌日になっても痛みと腫れがあった。	62	50～ 99
10	10～ 11	調理室の流し台の前を通るときに、床が油で滑りやすい状態だったため、転んでお尻を強打した。	42	100～ 299
10	14～	給食センター調理場内で、床面を水道水ホースで清掃していたところ、水道水ホースが足に引っかかり転倒した。転倒した際に左膝を強打し左膝の骨折となっ	61	10～

	15	た。		29
10	9～ 10	玄関入口で、副食を配達する為、副食の入ったコンテナ（41×69×H17cm、2～3kg）を持って玄関入口に入る際、右足首を捻り、右足首の靭帯を損傷した。	48	50～ 99
10	15～ 16	製品を取りに行く際、通路で台に躓き、右手前の台に左脇腹を打ち受傷した。	54	100～ 299
10	12～ 13	ジェットオーブンで使用済み鉄板を投入側シンクに置いて、取り手側に移動中、段差手前で滑って体左側部を下にした状態で転倒。転倒の際に左足を段差に引っ掛けてしまった。	59	500～ 999
10	8～9	厨房内で、担当配送先の食材を受け取るために副厨房に入室する際、副厨房の前、厨房前、回転釜周辺が滑りやすくなっていたため、滑って転倒し、尻餅を避けようと踏ん張った時に、足首を捻り骨折した。	51	500～ 999
10	13～ 14	調理室で半製品の入ったコロ付きの角タンクを移動した際に床に油がこぼれていたことを本人も認識していたが、そのまま放置してしまいそこで滑ってしまい手をついてしまった。その際に左手首を骨折してしまった。	25	10～ 29
10	12～ 13	老人ホームの食堂厨房で食材の搬入作業を行っていた。事故当時は他の従業員が厨房内の側溝清掃のため側溝の蓋が外れた状態で、本人の不注意で足が側溝にひっかかり転倒した。転倒の際右手を床につき右手首を骨折、側溝そばに置いてあった金属製の側溝の蓋に右おでこをぶつけて切ってしまった。規模は小さく独立性はないため本社に包括している。	59	50～ 99
10	10～ 11	2tトラックにて配達中、納品先に到着後、運転席よりおりた際、足元に先日より雨のため水溜をよけようとし右足をふんばった際に右膝に変な力が加わり、膝より異音が生じ、その後強い痛みと共に右膝が曲がらなくなり歩く事がままならなくなった。	55	1～9
10	9～ 10	施設内で貯蔵タンクの通路付近を掃除していたところ、つまずき、転倒して左足向こう脛を切傷したもの。	66	1～9
		生産終了後、11号ラインで方向転換しようとした際に、足元が滑り転倒した。そ		

10	4～5	の際に、横に設置してあったアルミ製のステップに背中から打ちつけ負傷した。負傷時、洗浄中であったために、作業靴は長靴に履き替えており、床は濡れていた。左側面の肋骨を1本骨折した。	58	300 ～ 499
10	16～ 17	工場2階に設置している洗浄場で洗浄作業をしていた時、足元に敷いてあるマットが滑り、転倒、右胸部を打撲し骨折した。	56	10～ 29
10	17～ 18	仕事が終わりに、会社の建物を出て門の手前でつまずいて、思いっきり転び、メガネ、靴も脱げて、咄嗟に右手を突いた。右の小指の間にひびが入り、40日間ギブスをはめる状況だった。	63	50～ 99
10	20～ 21	具材保管庫を歩いている時に、床が濡れて滑りやすくなっており、滑ってバランスを崩し、左ひざを床についたところ、左ひざの皿を骨折した。	60	500 ～ 999
10	11～ 12	工場1階製品冷凍庫内で製品のピッキング作業をしていた際、冷凍庫内の床が滑りやすくなっており、入り口に行こうとしたときに両足を同時に滑らせ、体が宙に浮いて後方に転倒し、床に左手をついたときに左手首に急に負荷がかかったものの。	65	300 ～ 499
10	7～8	組合本社工場内で下処理室から調理室へ移動する時に足洗い場で、滑って転倒。右手で体を支えるように倒れたため、右手首を骨折した。	67	30～ 49
10	1～2	惣菜加工場で炊飯ライン炊飯釜反転部分の部品に水をかけて洗浄していた際に足を滑らせて転倒し、左足くるぶしを骨折した。	61	100 ～ 299
10	15～ 16	職場内にて、給食調理作業の終了後の清掃中に、溝蓋（グレーチング）上をデッキブラシで清掃していたところ、足が滑って転倒し、背中を痛め、MRI検査を受けたところ、「骨折」であるとの最終結果が出た。	58	30～ 49
10	10～ 11	工場調理場内で次の作業へ移るためビニール手袋を変えようと棚へ向かって歩いているとき、床が水で濡れていたため滑って転倒した。	46	30～ 49
10	9～	給食センター下処理室にて、清掃作業中に倉庫扉の前から移動するとき、床が濡れていたため足を滑らせ転倒し、シンクの下にあるパイプに手が滑り込み、右中	42	10～

	10	指を負傷した。		29
10	8～9	第2工場の牛すきラインで肉の選別作業を行い、選別した肉の入ったケースを両手で抱えて所定の場所へ移動していた。業務用スポットクーラーの配線が床に這っていることに気付かず、足が配線に引っ掛かり両手にケースをもったまま左側から転倒したため膝を強打した。	46	300 ～ 499
11	2～3	4番冷凍庫内において、具材の運搬作業をしていた、冷凍庫内が滑り易くなっていたため、滑って転倒した。	66	500 ～ 999
11	16～ 17	被災者は、工場2階・4番冷凍室において、具材の運搬作業中、冷凍室の床が凍っていたのに気付かず、足を滑らせて転倒し、腰を強打した。	64	500 ～ 999
11	9～ 10	冷凍庫に原材料を取りに行ったところ、冷凍庫内のキャスター付棚のキャスター部分に原材料を梱包するバンドが輪の状態で絡まっており、その輪の中に足をとられ転倒した。体を右腕のみで支えてしまい右手首を骨折してしまった。	63	500 ～ 999
11	14～ 15	勤務終了間際、長靴の洗浄の為、流し場に洗剤を取りに行った際、流し場手前の鉄板の上で横すべりし、横倒しに転倒した。その際、右腕を強打し、痛みと痺れがあったが、間もなく勤務終了したため、直ぐに帰宅し、医療機関を受診したところ、骨折との診断を受けた。	55	50～ 99
11	12～ 13	車が農道から路外に逸脱し、車から降りて畑を歩いていたところ、暗くて側溝に気付かず、落ちてしまい、左足踵の骨折と顔面を損傷した。（帰社途中）	59	100 ～ 299
11	16～ 17	店のバックにて、キャベツの芯を取り除く作業の為、左手でキャベツを押さえ、右手で包丁を持ち、包丁の先端で芯を取り除こうとしたところ、誤って左手親指第一関節部分を裂傷し、腱断裂を負う。	58	300 ～ 499
11	13～ 14	場内入り口から製造現場に出る為の鉄扉の先にある樹脂製の段差プレートで足を滑らせ転倒した。	59	100 ～ 299

11	21~ 22	プラットホームを歩いていた時、電気が消えて暗かった為スロープの角で躓いて転倒し、左膝蓋骨骨折してしまった。	65	1~9
11	10~ 11	休憩時間にトイレへ行こうとした際に、急いでいたため小走りで七段ある階段の一番上から下までジャンプをした。着地した際に右足を着いてから、左足で踏ん張ろうとしたところ、体重を支えきれずに転倒し、左腓骨幹部を骨折した。	29	100 ~ 299
11	10~ 11	倉庫内での怪我である。預けてある当社在庫の茶葉を引き取りに行った。紙袋入り茶葉30kgを肩に担いで自社のトラックに移す作業中、歩いていた床面が10cmほど低くなる段差の場所で、右足が床面に着いたと同時にぐらつきながら右斜め前方に倒れ込んだ。（履物は運動靴）その際右足の小指付け根がグキッととなった。右足甲の部分打撲、右足小指付け根骨折となった。	31	10~ 29
11	14~ 15	工場内にて、人参の皮むき作業をする為に空のカゴ（約39cm×54cm×34cm）を手にとって移動した際、足元が見難かった為、床に材料を置くパレット（高さ約10cm）が置いてあることに気付かず躓いて転倒した。左膝を強打し負傷した。	65	50~ 99
11	7~8	3直勤務時間の最後に乾燥機の状態を確認するため、F3形成化室から乾燥室に手に何も持っていない状態で歩いて移動していたところ、足を滑らせてでん部から転倒した。	37	50~ 99
11	11~ 12	ペットフード製造工場で、商品の裁断及び金属探知の作業をしていた時、後ろ向きで移動していた場所に電源コードがあったので、躓き転倒した時、右手で床をつき骨折する。	67	10~ 29
11	20~ 21	工場内の製造ラインで機械清掃の作業中、移動している時に水濡れの床面で滑り転倒し、お尻・背中・側頸部の順に床面で打撲した。	19	500 ~ 999
11	11~ 12	原料（ピーマン選果）を確認中、原料搬送用ベルト駆動用モーターに左足が躓き転倒した。（通路上）その際に右手を打ち骨折した。	65	50~ 99
12	16~17	作業終了後の掃除で工場の外にゴミを捨てに行く途中、地面に雪が積もっていたため、滑って転倒し、転倒時に左手をついたため骨折した。	67	1~9
		事業場の調理場にある盛り付け室において、角に置いてある台車に躓いて balan		50~

12	4~5	スを崩し、左膝のさらを床に強打した。仕事が終わって、病院を受診したところ、膝蓋骨骨折と診断された。	65	99
12	7~8	野菜ごみを捨てに行くため外に出て工場に戻る際、入口前に敷いてあるステンレスの板に雪が積もっていた為、足を滑らせ尻餅をつきそうになり、右手を地面についたところ体重がかかり、手首を痛めた。	55	50~ 99
12	10~11	会社敷地内で、仕事終了後、駐車場に停めてある自分の車のところに歩いて向かっているときに、路面が凍っており滑って両足を上にあげた状態で仰向けに転んでしまった。幸いに頭は打たなかったが、腰と左肩を打撲し、また転んだ衝撃でむち打ちの様に頸部に痛みを感じた。	69	30~ 49
12	20~21	勤務終了後、帰宅のため車輛駐車場へ行く路上にて滑り転倒した。当日は積雪があり、路面は凍結状態にて付近は薄暗く駐車場前の路面部分にて転倒した。転倒時に右手をつき、右手首骨折を負った。	65	10~ 29
12	16~17	工場2階加工ライン室にて惣菜のパック詰め用のレンコンと筍を品出し補充していた時、床に落ちていたレンコンタレをふんで転倒し、右手をつき右手首を骨折した。	57	100 ~ 299
12	8~9	おせち包材を積んだ台車に左足がひっかかり、転びそうになり、右足を強くひねり負傷した（右足第5中足骨骨折）。	71	100 ~ 299
12	8~9	出勤時、第一工場食堂棟入口風除室にて発生した。出勤するため、食堂棟入口の風除室に入る時に右足を一步目にして風除室に入り、次に左足を上げて着地させようとした時に左足を滑らせて足首をひねって転んでしまった。労災発生当日の天気は晴れており、地面（タイル）は乾いた状態であった。	46	50~ 99
12	0~1	工場内で、海老をトッピングしている時、海老の臭いで気分が悪くなり、水を飲みに行こうと歩いていた所、突然受け身もとらずに顔面から床に倒れた。	22	1000 ~ 9999
12	11~12	デリカ作業場にて、片付け・弁当作りのとき、流し台の横にある食洗機の下に溜まった水で滑り、転倒した。その際、右肘・左膝を打撲し、右手首・右足首を捻	65	1~9

		挫した。		
12	16~17	厨房で、床清掃のため水とレンジクリーナーを床全面に撒き、デッキブラシで磨き始めようとしたところ、足元が滑り尻もちをついた。転倒による負傷（打撲等）はなかったが、レンジクリーナーがついて濡れたままにしたため、翌日、尻もちをついた部分がただれた。	28	10~ 29
12	9~10	工場内で作業中、トイレに行くために移動した際、野菜加工のために濡れた床で滑り、バランスを崩して転倒し、負傷した（長靴装着有り）。	69	30~ 49
12	6~7	原料納品のためラックを運搬していた際、足を滑らせて転倒した。その際にラックを掴んだ右腕を捻ってしまい、右肩脱臼を負った。	72	50~ 99
12	10~11	レトルト第1工場充填作業室内にて、年末大掃除のため壁および窓の清掃を実施中、被災者の後方5m先で、大掃除のため仮置きしていたパレット10枚を、フォークリフトを使って移動しようとするが爪が上手くささらず、ずれたパレットを直そうとする際に滑り落ちるように荷崩れした。その音を聞いて驚いた瞬間に、壁際床面と床面の段差に躓くような形で前方に転倒し、壁面に備え付けの水道蛇口と壁際床面にて左足前大腿部を強打した。	62	100 ~ 299
12	11~12	包装室で運搬作業中、後ろ向きに台車を引いていたところ、長靴の踵が引っ掛かり、後ろ向きに転倒した。	62	100 ~ 299
12	5~6	盛り付け作業終了後、両手にゴミ袋を持ってゴミ庫へ行く途中、滑って転び、その際に右腕肘を強打し、骨折した。	73	100 ~ 299
12	11~12	当社工場内で、次の作業をするために商品トレイを持って工場内を歩行中、床の水気で足を滑らせて後方へ転倒し、後頭部を負傷した。	60	10~ 29
12	6~7	出勤後、女子更衣室に作業服に着替えるため入室した際、自分のロッカーの一系列手前の、ワックス掛けがしてあった通路で足が滑り転倒し、尻底骨辺りを床面に当て、一時的に動くことができなくなった。	50	300 ~ 499
		トッピング室前通路にて、階段室からトッピング室に向けて移動中、就業開始時		300

12	8~9	間に間に合わず気持ちが焦っていたため、通路を走ってしまい、気がつくとな転倒して頭部を打撲していた。	64	~ 499
----	-----	---	----	----------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html